

平成26年度 事務事業評価シート

事務事業名		中学校図書環境整備				所管	教育委員会 庶務課		
事務事業の概要	行政計画	なし	事業NO.		計画事業名	事業の開始・終了年度			
	長期総合計画体系	[基本目標]							
		[小 柱]							
		[施 策]							
	根拠法令等	その他		〔法令等名〕		なし			
	事業対象	区立中学校図書館及び生徒							
	事業目的	国語力の向上を図り、情操教育効果を高めるため、区立中学校図書館の蔵書を充実し、生徒の読書活動を推進する。							
	事業内容	文部科学省設定の学校図書標準を目途に、区立中央図書館との連携を図り、学校図書館の蔵書の充実と、学校図書館の効果的な運営を行う。							
	委託の有無	一部委託		委託内容	中央図書館と各学校図書館のネットワークによる図書情報の共有化				
補助金の有無	なし								
事務事業の実績	種 別	指標の名称 (単位)		目標値 (27年度)	23年度	24年度	25年度		
	活動指標	区立中学校数 (校)		7	7	7	7		
	成果指標	1校あたり図書購入数 (冊)		850	835	834	1,065		
	決算額 (単位：千円)				14,694	14,110	11,930		
	事務事業コスト (単位：千円)	人にかかるコスト (人件費など)			1,260	1,250	1,022		
		物にかかるコスト (物件費・維持補修費)			14,694	14,110	11,930		
		その他のコスト (扶助費・補助費など)			0	0	0		
		総経費			15,954	15,360	12,952		
	財源項目 (単位：千円)	受益者負担額 (使用料・手数料・負担金など)			0	0	0		
		その他特定財源 (国や都の支出金・財産収入など)			55	0	0		
一般財源 (区負担額)			15,899	15,360	12,952				
前年度から改善した事項		文部科学省の学校図書標準を目途に、従前からの古い図書を整理した。							
評価の視点	評価	評価の理由							
	必要性	4	学力向上の基礎となる国語力の向上を図り、情操教育の効果を高めるため、蔵書の充実が必要である。なお、各学校の図書整備率は向上しているが、今後とも図書整備が必要である。						
	効率性	3	学校図書標準は、学校図書の整備に必要不可欠な経費の水準を定めたものである。						
	手段の適切性	3	義務教育の機会均等と水準の維持向上を図るために必要な手段である。						
	目的達成度	4	区立中学校における生徒の読書活動が活発に行われ、学校図書が有効に活用されている。						
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)					評価結果	今後の方向性	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了		
生徒の活発な読書活動推進のため、図書館環境の整備について、引き続き推進する。また、古くなった図書の買い替えや時代に合った新しい図書の充実も継続的に進めていく。						維持			